

各 位

上場会社名	株式会社 アパマンショップホールディングス
代表者	代表取締役社長 大村浩次
(コード番号	8889)
問合せ先責任者	常務取締役 石川雅浩
(TEL	03-3231-8020)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	900	300	100	78.93
今回発表予想(B)	22,000	1,100	300	△450	△346.61
増減額(B-A)	0	200	0	△550	
増減率(%)	0.0	22.2	0.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年9月期第2四半期)	24,353	811	481	319	258.91

平成23年9月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,600	90	△300	△200	△157.85
今回発表予想(B)	1,900	100	△500	200	154.05
増減額(B-A)	300	10	△200	400	
増減率(%)	18.8	11.1	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年9月期第2四半期)	—	—	—	—	—

#### 修正の理由

##### <連結>

売上高においては、当社連結子会社における建設事業の売上高減少があるものの、斡旋事業を中心とした主要セグメントの売上高が堅調に推移しており、前回予想と同額の22,000百万円となる見込みです。営業利益においては、斡旋事業におけるキャンペーン実施による反響数および契約数・率の増加、プロパティ・マネジメント事業における入居率向上等による売上総利益率の改善等の要因により主要セグメント収益が拡大しており、前回予想より200百万円増の1,100百万円となる見込みです。経常利益においては、平成23年2月4日付公表の優先株式・新株予約権発行に伴う新株発行関連費用等が発生したものの、上記の営業利益の増加により、前回予想と同額の300百万円となる見込みです。四半期純利益においては、平成22年12月28日付に公表した連結子会社における固定資産売却損の計上や連結子会社の収益向上に伴う繰延税金資産の減少等の要因があるものの、平成22年12月28日付に公表した当社完全子会社間の合併による繰越税金資産の計上に伴う法人税等調整額減少等による純利益増加要因が発生したことにより、前回予想より550百万円減の△450百万円となる見込みです。

##### <個別>

売上高においては、連結子会社からのソフトウェア使用料の増加等の要因により、前回予想より300百万円増の1,900百万円となる見込みです。経常利益においては、連結と同様に、新株発行関連費用の発生により、前回予想より200百万円減の△500百万円となる見込みです。四半期純利益においては、平成22年12月28日付に公表した当社連結孫会社に対する貸倒引当損失の計上等の要因があるものの、平成22年12月28日付に公表した当社完全子会社間の合併に伴う貸倒引当金戻入益の計上等の要因により、前回予想より400百万円増の200百万円となる見込みです。

なお、平成23年9月期通期(連結・個別)業績予想につきましては、現在の経済環境や不動産市況等の動向、有利子負債圧縮を目的とした資産売却における収益への影響が流動的であること等を鑑み、平成22年11月15日付公表の業績予想を据え置きますが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかにお知らせいたします。

以上